

令和6年度 学校だより

学校教育目標

自主 責任 明朗



六中だより 6月号



学校の花 マリーゴールド
花言葉「健康」

開校45年目

〒352-0023 埼玉県新座市堀之内3-11-1

TEL 048-478-2764

FAX 048-482-0136

HP <http://www.c-niiza.ed.jp/j-dairoku> 全生徒数:698名

食育イン
フォメーション
拡大版
だより。

「食べること」は、体をつくること、心をつくること



ゆかり

皆さん、御存知ですか？毎年、6月は農林水産省によって定められた「食育月間」です。それにちなんで、今月号は、先月号から設置した「食育インフォメーション」コーナーを拡大してお伝えします。（ぜひ、給食だよりも御覧ください）

早速、給食委員会でも取組があり、六中生が食に関して関心をもってもらうよい機会だと考えています。具体的には、給食の食べ残しを減らそう、という活動で、食品ロスの視点、そして、命ある食材とそれらに関わる人々への感謝の気持ちを醸成することを考えると、とても大事な取組だな、と思っています。実際に、六中の毎日の給食の喫食率（提供された給食から残った食物を除いたものの比率）は概ね95%以上、という好成績を収めています。

「だったら、改めて取り組まなくてもいいのでは？」という意見もあるかもしれません。しかし、この数字は、学校全体の結果であり、実は、六中生一人一人が給食を完食したか、ということそうではないのです。私が給食時間中に教室を回ってみると、たくさんの生徒が給食をお代わりをして、食缶を空っぽにしてくれています。それはそれでいいのですが、少食の生徒や摂取する食材が限られている生徒（好き嫌い？もちろん、食物アレルギーの場合を除きます）もいる様子で、やっぱり、一人一人の生徒が一人前の給食を食

—— 6月の食育月間にちなんで

校長 影山 葉子

べて欲しいな、と思っています。しかしながら、無理強いをするつもりもありませんので、「もう一口」と考えて、食べるのはどうかな、と考えています。

中学生は、大人になるための体の成長のまさに絶頂期です。栄養バランスの整った給食を毎日きちんと食べて、六中生の体がしっかりと育って欲しい、と思っています。体が育てば、心も豊かになります。心身の健康はやはり、「食」が大きな役割を果たしているのです。

これから、学校総合体育大会の地区大会があります。出場したり、応援したりする生徒もたくさんいます。体力を十分につけて、ぜひ、大会での六中生の活躍を期待しています。

「楽学両道～感謝をつなぐ修学旅行へ～」 感謝を忘れない、楽しんで学んだ3日間

先月の16日から3日間、3年生は京都、奈良方面に修学旅行に行ってきました。3日間、晴天に恵まれて、六中生は班行動を中心に、予定通りの行程を実施することができました。



京都市街をシルバーガイドさんと電車やバスで巡る体験は、たいへん貴重なものになったようです。

その他、様々な体験を経て、3年生にとって楽しみ、学び、感謝の気持ちも育み、思い出深い修学旅行になったことと思います。

